SONY

2-660-753-06(1)

266075306(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全のために」の注意事項は、裏面をご覧ください。

MZ-EH50

本機は、再生専用機です。本機を使って、ディスクに録音することはできません。

ポータブルミニディスクプレーヤー
MZ-EH50
T11-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

付属品を確かめる

- ヘッドホン
- リモコン
- 充電スタンド
- キャリングポーチ

- ACパワーアダプター
- 充電式ニッケル水素電池 NH-14WM
- 充電式電池ケース
- 乾電池ケース

- 取扱説明書・保証書
- ソニーご相談窓口のご案内

ご注意

本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
- 本体にリモコン／ヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

各部のなまえ

プレーヤー本体

1. 充電式電池入れ
2. VOL（音量）+*、−ボタン
3. HOLDスイッチ
4. ■（停止）ボタン
5. 充電用端子
6. 乾電池ケース用端子
7. ⏮（頭出し、早戻し）、⏭（頭出し、早送り）ボタン
8. ▶II（再生／一時停止）*ボタン
9. ∩（ヘッドホン）ジャック
10. 充電／動作ランプ
11. OPENつまみ

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

リモコン／ヘッドホン

1. ヘッドホン
2. ステレオミニプラグ
3. VOL（音量）+、−つまみ
4. ■（停止）ボタン
5. ジョグレバー（▶II（再生、一時停止）/ENT（決定）・⏮（頭出し、早戻し）・⏭（頭出し、早送り）
6. 🗀（グループ）−、+ ボタン
7. クリップ
8. HOLDスイッチ
9. 表示窓
10. DISPLAYボタン
11. P MODE/⊊（リピート）ボタン
12. SOUNDボタン

充電スタンド

1. 充電用端子
2. DC IN 3Vジャック

リモコン表示窓

1. 電池残量表示
2. ディスク表示
3. 曲番表示部
4. 文字情報表示部
5. 再生状態表示
6. サウンド表示

本機で使えるディスクについて

本機で再生できる音楽は下記の通りです。

	Hi-MD*モードで録音された音楽		MDモードで録音された音楽
ディスク	Hi-MD規格専用 1GBディスク	60/74/80分 ディスク	60/74/80分 ディスク
対応オーディオフォーマット	リニアPCM ATRAC3plus (Hi-SP/Hi-LP) ATRAC3		ATRAC (SP) ATRAC3 (LP2/LP4) MONO

*「Hi-MD（ハイエムディー）」とは、従来のMDが進化した新しい規格です。

準備する

充電する

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

1 充電式電池を入れる

❶ 充電池入れのふたを矢印の方向へ押しながらずらす。

❷ 充電式電池を入れる。
⊖側を奥にして入れてください。

❸ ふたを閉める。

2 充電する

❶ 充電スタンドとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ。

❷ 本体を充電スタンドにのせる。
充電／動作ランプが点灯し、充電が始まります。

充電／動作ランプが消えた時点で充電スタンドからはずしてお使いいただけます。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

❶ リモコンを本体につなぐ。

❷ HOLDつまみをずらして、ホールドを解除する。

💡
- 充電してもすぐに表示が消える場合は充分に充電されています。
- 使い切った状態から充電を始めると、約3.5時間で充電が終了します。充電時間は充電式電池の使用状態によって異なります。
- 充電中、再生などの操作をすると、充電が停止します。

リモコンのクリップの使いかた

リモコンを取り付ける位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合、下記のようにリモコンのクリップを逆向きにつけてください。

1 クリップをはずす。

2 逆向きに付ける。

乾電池ケースの取り付けかた

アルカリ乾電池と充電式電池を一緒に使って、長時間使用することができます。

1 乾電池ケースを本体に取り付ける。

2 ソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れる。

図のように必ず⊖側から入れてください。

充電式電池の充電時期・乾電池の取り換え時期は

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示で、または本体の充電／動作ランプ表示でお知らせします。

リモコンの表示窓

電池残量が少なくなってます。
↓
電池が消耗しています。
↓
電池残量がありません。リモコンの「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れます。

本体の充電／動作ランプ表示

点灯 電池残量は充分です。
↓
遅い点滅 電池残量が少なくなってます。
↓
速い点滅 電池残量がありません。しばらくするとランプが消灯し、電源が切れます。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

AC電源で使うには

ACパワーアダプターを充電スタンドにつなぎ、そこに本体をのせると、充電式電池なしでも使うことができます。

海外で使うには

付属のACパワーアダプターは、100～240 Vの電源電圧に対応しています。コンセントの形にあったACプラグアダプターをご用意いただければ、海外でも使用できます。

ACパワーアダプター（付属の充電スタンド専用）について

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  - 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  - 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

ご注意
- 充電にかかる時間は、周囲の温度によって異なります。（+5℃～+35℃内の温度の場所で充電してください。）
- 長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）でお使いになることをおすすめします。
- 充電中は、充電スタンドや本体が熱くなりますが、危険はありません。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。

電池の再生持続時間

Hi-MD（Hi-MD規格専用1GBディスク）モードの場合

(JEITA[1])

再生状態＼電池の種類	充電式電池[2]	アルカリ乾電池[3]	充電式電池＋アルカリ乾電池
リニアPCM	約14.5時間	約17.5時間	約36時間
Hi-SP	約25.5時間	約30.5時間	約64時間
Hi-LP	約30.5時間	約42時間	約80時間

Hi-MD（60/74/80分ディスク）モードの場合

(JEITA[1])

再生状態＼電池の種類	充電式電池[2]	アルカリ乾電池[3]	充電式電池＋アルカリ乾電池
リニアPCM	約11時間	約13.5時間	約26.5時間
Hi-SP	約23時間	約30.5時間	約58.5時間
Hi-LP	約31.5時間	約44時間	約74.5時間

MD（60/74/80分ディスク）モードの場合

(JEITA[1])

再生状態＼電池の種類	充電式電池[2]	アルカリ乾電池[3]	充電式電池＋アルカリ乾電池
SP	約25.5時間	約34時間	約64.5時間
LP2	約30.5時間	約44.5時間	約76時間
LP4	約34時間	約48時間	約85時間

1) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
2) 充電式ニッケル水素電池NH-14WM（100%充電時）
3) 日本製ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

ご注意
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。その場合、残量表示が正しく表示されないことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と交換してください。
- 充電式電池を交換するときは、必ず本機を停止させてから行ってください。
- 乾電池でお使いになるときは、必ずアルカリ乾電池を使ってください。それ以外の電池では、電池の持続時間が短くなったり、併用する充電式電池の性能が損なわれる場合があります。

音楽を聞く

聞く

1 録音済みのディスクを入れる

❶ OPENつまみをずらしてふたを開ける。

❷ 矢印の向きにディスクのラベル面を上にし、奥まで押し入れ、ふたを閉める。

2 再生する

❶ ジョグレバーを押す（▶II）（本体では▶IIを押す）。

❷ VOL つまみを＋または−側へ回して音量を調節する（本体ではVOL ＋または−を押す）。

VOL +、− つまみ ／ ■ ／ ▶II ／ VOL +、− ／ 🗀 +、− ／ ■ ／ ジョグレバー（⏮・▶II・⏭） ／ ⏮、⏭ ／ 充電／動作ランプ

こんなときは		リモコン操作（本体操作）
再生	続きから再生する	ジョグレバーを押す。前回再生を止めたところから始まる（▶IIを押す）。
	1曲目から再生する	停止中、ジョグレバーを2秒以上押したままにする（停止中、▶IIを2秒以上押したままにする）。
停止	一時停止する/一時停止を解除する	ジョグレバーを押す（■を押す）。
	再生を止める	■を押す。
頭出し/サーチ	今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	ジョグレバーを⏮側にずらす（⏮を押す）。
	次の曲を頭出しする	ジョグレバーを⏭側にずらす（⏭を押す）。
	早戻し/早送りする	再生中または一時停止中、ジョグレバーを⏮/⏭側にずらしたままにする（再生中または一時停止中、⏮/⏭を押したままにする）。
	グループの頭出しをする[1]（グループスキップ）	🗀 −、＋を押す。
ディスクを取り出す[2]		■を押してから、本体のOPENつまみをずらす。

1) ディスクにグループがない場合は、10曲ごとの頭出しになります。
2) ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

💡
本機の再生音を他のオーディオ機器で聞く場合は、リモコンをはずし、市販のオーディオ接続コードを∩（ヘッドホン）ジャックに接続してお使いください。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

Hi-MDモードで録音されたディスクの場合、最大で約12秒間音が途切れることがあります。

表示窓で曲の情報を見る

再生中に、表示窓で曲名やディスク名などの情報を確認できます。

1 再生中にDISPLAYを押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

それぞれのマークに続いて名前が表示されます。

- ♫ ：曲名
- ディスクマーク ：ディスク名
- 🗀 ：グループ名
- 人物マーク ：アーティスト名
- アルバムマーク ：アルバム名

A	B
曲番	経過時間
曲番	● 曲名とアーティスト名（Hi-MD） ● 曲名（MD）
ディスクの総曲数	ディスク名
グループ内の曲番	グループ名[1]
グループ内の曲番	アルバム名[1]（Hi-MD）
曲番	サウンドモード名[2]
曲番	● コーデック情報（Hi-MD）[2] ● トラックモード情報（MD）[2]

1) グループに属していない曲を再生中は、ディスク名と曲名が表示されます。
2) メニューモードが「Simple」に設定されているときは表示されません（裏面「メニュー一覧」－「Option」－「Menu Mode」参照）。

ご注意
- グループ再生／通常再生の状態や、動作状態、設定状態によっては、表示が選択できなかったり、表示が異なったりすることがあります。
- 漢字やかなの情報は正しく表示できません。

いろいろな再生方法で聞く

再生方法を選ぶ

1 P MODE/⊊を繰り返し押す。

押すたびに表示は次のように変わります。

表示	再生モード
（表示なし）	通常の再生（全曲を1回再生）
1	1曲再生（選んだ1曲のみ再生）
SHUF	シャッフル再生（メイン再生モードで選んだ曲を順不同に再生）
A-（A-B ⊊）*	A-Bリピート再生（曲の中のA点とB点を繰り返し再生）

* メニューモードが「Simple」に設定されているときは表示されません（裏面「メニュー一覧」－「Option」－「Menu Mode」参照）。

曲中の指定した部分だけを繰り返して再生する（A-Bリピート再生）

A点とB点は、必ず同一曲内に指定してください。

1 繰り返したい部分を含んでいる曲を再生中に、P MODE/⊊を繰り返し押し、「A-」を点滅させる。

2 繰り返しを始めたい点（A点）でジョグレバーを押す。

A点が確定し、「B」が点滅します。

3 繰り返しを終えたい点（B点）でジョグレバーを押す。

B点が確定し、「A-B ⊊」が点灯し、A点とB点の間を再生します。

💡
A-Bリピート再生中にジョグレバーを⏭側にずらすと、A点、B点を設定し直すことができます。

ご注意

「A-」が点滅中にディスクの最後まで再生してしまったときは、A-Bリピートの設定が中止されます。

繰り返し聞く（リピート再生）

A-Bリピート再生以外の再生モードのとき、曲を繰り返し聞くことができます。

1 P MODE/⊊を2秒以上押す。

「⊊」が点灯します。

リピート再生

003 13:52

解除するには

P MODE/⊊を2秒以上押します。

好みの音にする
(6バンドイコライザ)

お好みの音質を6種類の中からリモコンで選択・設定することができます。

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SND」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグレバーを繰り返しずらしてサウンドの種類を選ぶ。

002 Heavy SND H

ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

A	B	効果
Heavy	SND H	重厚さを感じる音質
Pops	SND P	軽快でソフトな音質
Jazz	SND J	低音を響かせる音質
Unique	SND U	低音と高音を響かせる音質
Custom1	SND 1	お好みの音質（音質の設定は下記の「好みの音質にする」参照）
Custom2	SND 2	

4 ジョグレバーを押して決定する。

設定を解除するには

上記の手順1でⒷに何も表示されていない状態を選びます。

好みの音質にする

「Custom1」と「Custom2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 上記の手順1～3を行い、「Custom1」または「Custom2」を表示させる。

2 ジョグレバーを押す。

3 ジョグレバーを繰り返しずらして周波数を選ぶ。

周波数（100Hz）

周波数は次の6つから選べます。
左から順に100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

4 VOLつまみを繰り返し回してレベルを調節する。

レベル（+10dB）

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 手順3と4を繰り返す。

6 ジョグレバーを押して決定する。

メニュー操作のしかた

お買い上げ後、はじめてメニュー操作をすると、表示窓に「Menu Mode」が点滅します。ジョグレバーを押したあとに、ジョグレバーを⏮/⏭側にずらして「Simple」（基本的な項目のみ表示）または「Advanced」（すべての項目を表示）のどちらかを選んで、メニューモードを設定してください。

1 DISPLAYを2秒以上押す。
メニュー画面になります。

00 MainPMode

2 ジョグレバーを⏮/⏭側にずらして、項目を選択する。

3 ジョグレバーを押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって手順2と3を繰り返す。
最後にジョグレバーを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには
■ボタンを押す。

途中で中止するときは
■ボタンを2秒以上押す。

メニュー一覧

設定できるメニュー項目は以下のとおりです。リモコンのみで設定できます。「Menu Mode」の設定が「Advanced」になっているときは、すべてのメニューが表示されます。「Simple」になっているときは、＊が付いているメニュー項目は表示されません。

項目	設定内容（●:お買い上げ時の設定）		
MainPMode	Normal		通常の再生です。
	Group		選んだグループの曲を再生します。
	Artist（Hi-MDモードの場合のみ）		選んだアーティストの曲を再生します。
	Album（Hi-MDモードの場合のみ）		選んだアルバムの曲を再生します。
	Bookmark		聞きたい曲にブックマークを付けて、その曲だけを再生します（➡右記「聞きたい曲だけ再生する」参照）。
Option	Menu Mode	Simple	基本的な項目のみを表示します。
		Advanced	全メニュー項目を表示します。
	AVLS*	AVLS Off●	音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。
		AVLS On	音もれや耳への圧迫感軽減のために、一定以上に音量が上がりません。
	Beep*	Beep On●	操作時の確認音が鳴ります。
		Beep Off	操作時の確認音（ピッなど）は鳴りません。
	Backlight	Auto●	表示窓のバックライトが、操作直後に約10秒間点灯します。また、表示をスクロールしている間、点灯します。
		On	本体が動いているときは、常に、バックライトが点灯します。
		Off	常にバックライトが消灯し、電池の消耗を抑えます。
	Disc Mem*	On●	ディスクの設定情報を、本体に自動的に登録します。ディスクを取り出すときに設定情報を自動的に登録し、ディスクを再度入れたときに、設定情報を自動的に読み出します。
		Off	ディスクの設定情報を、登録しません。
		1MemErase	現在入っているディスクの設定情報を、消去します。
	QuickMode*	Quick On●	自動的に電源が切れません。再生ボタンを押してすぐに再生ボタンが始まります。
		Quick Off	電池の消費を防ぐために、一定時間操作がなかった場合は、自動的に電源が切れます（オートパワーオフ機能）。

ご注意
- 「Disc Mem」によって登録される設定情報は、ブックマークと、6バンドイコライザのCustom1/Custom2の設定です。
- 「Disc Mem」は、最大でディスク30枚分の情報を登録できます。30枚を越えると、再生した時期が古いディスクの情報から自動的に消去されます。登録できるディスク数は、ディスクに録音されている曲数によって異なります。ディスク1枚あたリの曲数が多くなると、登録できるディスク数は少なくなります。
- 「QuickMode」の設定を「Quick On」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。電池を全て消耗すると、自動的に本体内部の電源が切れます。

聞きたい曲だけ再生する（ブックマーク再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

1 ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

003 ON

ブックマークがゆっくり点滅

ブックマークが確定します。

2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。
全部で255曲までつけられます。

3 メニュー操作で「MainPMode」－「Bookmark」を選ぶ。

4 ジョグレバーを押す。
ブックマークされた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

ブックマークを消すには
ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉めておいてください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強くひっぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（60℃以上）
  - 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカー、テレビなどの磁気を帯びたものの近く
  - ほこりの多いところ
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。

温度上昇について
充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ディスクの取り扱いについて
- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  - **シャッターを手で開けない**
    無理に開けるとこわれます。

  - **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  - **置き場所について**
    直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。
  - **定期的にお手入れを**
    カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取ってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口にご相談ください。

リモコンについて
付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンでは本機の操作はできません。

充電スタンドについて
- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。

乾電池ケースについて
付属の乾電池ケースは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

フォーマット
ミニディスクシステム、Hi-MDシステム

再生読み取り方式
非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用）

回転数
約350 rpm ～ 3,000 rpm（CLV）

エラー訂正方式
Hi-MD：
LDC (Long Distance Code) ／ BIS (Burst Indicator Subcode)
MD：
ACIRC (Advanced Cross Interleave Reed Solomon Code)

サンプリング周波数
44.1 kHz

対応オーディオフォーマット
リニアPCM（44.1kHz/16ビット）
ATRAC3plus（Adaptive TRansform Acoustic Coding 3 plus）
ATRAC3
ATRAC

変調方式
Hi-MD：
1-7RLL (Run Length Limited)/
PRML (Partial Response Maximum Likelihood)
MD:
EFM (Eight to Fourteen Modulation)

周波数特性（ヘッドフォン出力時）
20 ～ 20,000 Hz ±3 dB

出力端子
🎧：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）

実用最大出力*（DC時）
ヘッドホン：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源
充電式ニッケル水素電池
NH-14WM 1.2 V, Ni-MH　1個
アルカリ乾電池（単3形）　1個
ACパワーアダプター DC 3V,
AC 100 ～ 240V, 50/60 Hz

動作温度
＋5℃～ +35℃

電池持続時間
表面「充電する」をご覧ください。

本体寸法
約 77.0 ×83.1 × 17.6 mm
（幅／高さ／奥行き、突起部含まず）

最大外形寸法*
約 78.8 ×85.0 ×20.2 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量
約 80g（本体のみ）
約 107g（充電式電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

別売りアクセサリー
充電式ニッケル水素電池　NH-14WM
ステレオヘッドホン[1]　MDR-EX71SLなど
MD・CDウォークマン専用スティック・コントローラー　RM-MC35ELK[2]、RM-MC33EL[2]
アクティブスピーカー　SRS-Z510、SRS-Z30など

[1] ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。
[2] A-Bリピート再生機能は使用できません。

下記の機種は、本機と併用することができません。
ロータリーコマンダー RM-WMC1
MDラベルプリンター MZP-1
ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造年は、本体のふたを開けた内側に表示されています。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

Hi-MD、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
ご不明な点があるときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

充電できない
- 充電スタンドの充電用端子が汚れている。→ 充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
- 充電式電池が入っていない。→ 充電式電池を入れてください。
- 充電している場所の温度が高すぎる。（リモコンに「CannotCHG」表示が出る）
  または低すぎる。（リモコンに「SLOW CHG」表示が出る）→ 充電は、+5℃～ +35℃の場所で行ってください。

本体を充電スタンドに置いても充電／動作ランプがつかない
- 本体を充電スタンドに置いてもすぐに充電／動作ランプがつかないときがあります。→ 本体を充電スタンドに置いて約1分後、充電／動作ランプが点灯し、充電が始まります。

操作を受けつけない
- 電池が正しく入れられていない。→ 電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直してください。
- ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すとリモコンに「HOLD」表示が出る）。→HOLDスイッチを矢印と逆方向にして、ホールド機能を解除してください。
- リモコンでメニュー項目の設定中に、本体のボタンを押した。（本体のボタンを押すとリモコンに「IN MENU」表示が出る）。→ リモコンで操作を終了させてください。
- 結露している（本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに、内部に水滴が付着している）。→ ディスクを取り出して、数時間待ってください。
- 充電式電池または乾電池が消耗している（リモコンに「LOW BATT」表示が出る）。→ 充電式電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換してください。
- ディスクが損傷している（リモコンに「READ ERR」または「TOC ERR」表示が出る）。→ ディスクを入れ直す。それでも表示が出るときは、他のディスクと取り換えてください。
- 使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。→次の手順で操作し直してください。
  1. すべての電源をはずす。
  2. 約30秒間そのままにする。
  3. 電源をつなぐ。

ヘッドホンから音が出ない
- ヘッドホンがしっかりと差し込まれていない。
  →🎧ジャックにしっかりと差し込んでください。
  →ヘッドホンをリモコンにしっかりと差し込んでください。

音が大きくならない
- AVLS機能が働いている。→ AVLSを解除してください。くわしくは「メニュー一覧」をご覧ください。

通常の再生ができない
- リピート再生を指定した。→ リモコンのP MODE/⊂ボタンを2秒以上押したままにして、⊂（リピート）表示を消してから再生を始めてください。

ディスクの1曲目から再生できない
- 前回再生したときディスクの途中で止めた。→ ふたを開けるか、停止中にリモコンのジョグレバーを2秒以上押したままにしてください。1曲目から再生できます。

再生中に音がとぎれる
- 振動の多い場所に置いている。→ 振動の少ない場所で使ってください。
- ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。

雑音が多い
- テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。→ テレビなどから離して置いてください。

瞬間的なノイズが聞こえる
- LP4（4倍モード）でステレオ録音された音を再生している。→ LP4ステレオ録音した音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

メッセージ一覧

リモコンの表示窓にメッセージが出たら、下記にしたがってチェックしてみてください。

AVLS
AVLSの設定が「AVLS On」になっているので、これ以上音量をあげられない。→ AVLSの設定を「AVLS Off」にしてください。

BLANKDISC
何も録音されていないディスクが入っている。

BUSY
ディスクの情報を読んでいる。→ しばらく待ってください。まれに1分ほどかかる場合があります。

Can'tPLAY
再生できる音楽データが入っていない。
音楽データまたは管理ファイルが壊れている。
→ 他のディスクと取りかえてください。

CannotCHG
指定温度ではないところで充電しようとした。
→ 指定温度の範囲内（+5℃～ +35℃）で充電してください。

End
再生中またはジョグレバーを⏭側へずらしているとき（本体では⏭を押しているとき）に、ディスクの最後まで到達した。

ERROR
内部システムが誤動作している。→ 次の手順で操作し直してください。
1. すべての電源をはずす。
2. 約30秒間そのままにする。
3. 電源をつなぐ。

ERROR XX
内部システムが誤動作している。呼び出しに失敗した。→ 上記の手順で操作し直してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、ソニーの相談窓口へご相談ください。

FormatERR
本機が対応していないフォーマットのディスクが挿入された。→ MDまたはHi-MDフォーマットのディスクを入れてください。

HOLD
ホールド機能が働いている。→ 本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください。

HI DC IN
電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターを使っていない）。→ 指定のACパワーアダプターを使ってください。

LOW BATT
電池が消耗した。→ 充電池を充電し直してください。

NO MARK
ブックマークがついていないディスクでブックマークトラック再生をしようとした。→ ブックマークをつけてから操作してください。ブックマークがついているディスクで操作してください。

NO DISC
ディスクが入っていない。→ ディスクを入れてください。

NoDiscMEM
ディスクメモリーを登録していないディスクでディスクメモリーを削除しようとした。

NO NAME
アーティスト名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアーティスト再生にした。

NoOPERATE
リモコンでプログラムの設定をしているときに、グループスキップしようとした。

NO TITLE
アルバム名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアルバム再生にした。

NO TRACK
何も録音されていないディスクを再生しようとした。→録音済みのディスクを入れてください。

READ ERR
ディスクの情報を正しく読み取れなかった。→ ディスクを入れ直してください。

SLOW CHG
指定温度ではないところで充電しようとした。
→ 指定温度の範囲内（+5℃～ +35℃）で充電してください。

TOC ERR
ディスク情報を正しく読み取れなかった。→ 他のディスクと取りかえてください。

保証書とアフターサービス

保証書
所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ先について
本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記までお知らせください。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - 型名
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル ……0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ……0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル ……0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ……0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「302」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金:9:00～20:00　土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号
強制

⚠警告（火災・感電）　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

接触禁止

指定以外の充電スタンドやACパワーアダプターなどを使わない
破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

禁止

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

火のそばや炎天下などで充電・放置しない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

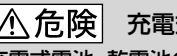
禁止

充電スタンドの上に金属を置かない
充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

金属類と一緒に本体や乾電池ケースを携帯・保管しない
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

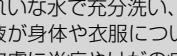
はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　乾電池について
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　乾電池について
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

お願い
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。